

施策評価シート

記載年月	令和3年9月
対象年度	令和2年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	063	駅周辺整備事業の計画的推進				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			担当部課名	都市整備部 地区整備課
	基本施策	02	まちの拠点整備			
めざす姿	駅周辺には、地域拠点にふさわしい商業・業務・公共の各施設が整備されるとともに、本市の緑、歴史、文化などと調和した魅力あるまちづくりが行われ、市民の憩いの空間が創出されることで、多くの人々が集い、にぎわいを見せています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
(事業費)						
当初予算額	300,710,000	333,132,000	1,257,656,000	1,571,925,000	554,361,000	
国庫支出金	104,167,000	35,112,000	298,700,000	42,647,000	0	
都支出金	31,250,000	15,336,000	156,225,000	483,379,000	189,627,000	
市債	0	0	261,400,000	445,000,000	65,000,000	
その他	2,400,000	176,400,000	435,600,000	503,500,000	253,697,000	
一般財源	162,893,000	106,284,000	105,731,000	97,399,000	46,037,000	
予算現額	425,920,000	327,613,000	678,868,000	1,209,133,000	0	
決算額	406,578,172	312,148,289	635,157,579	1,153,884,046	0	
国庫支出金	102,900,000	31,900,000	21,250,000	37,915,000	0	
都支出金	94,483,000	46,232,000	261,424,000	414,485,000	0	
市債	0	0	150,000,000	390,000,000	0	
その他	2,372,277	165,000,000	84,600,000	224,500,000	0	
一般財源	206,822,895	69,016,289	117,883,579	86,984,046	0	
執行率	95.5	95.3	93.6	95.4	0.0	
(人件費)						
職員数	9.80	7.24	7.00	9.00	0.00	
職員人件費	75,279,915	56,884,609	56,223,685	69,646,824	0	
月額制会計年度任用職員数	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
月額制会計年度任用職員人件費	0	3,114,801	3,090,923	0	0	
(間接経費)						
間接経費	861,363	3,733,498	1,057,166	2,439,944	0	
総コスト	482,719,450	375,881,197	695,529,353	1,225,970,814	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
市内の鉄道駅の1日平均乗降車 人員総数	465,175 人	実績	476,141	472,355	342,921	-	481,500
		達成率	98.9	98.1	71.2	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

令和2年度の実績は、前年度と比べて大きく減少し、令和3年度目標値に対する達成率が大幅に下回っています。原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により鉄道利用者が減少したと推測しています。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	
達成できている点	分倍河原駅周辺地区において、都市・交通戦略を策定した。また、分倍河原駅改良及び周辺整備に向けた都市基盤整備の検討及び調査・測量を行った。 多磨駅改良整備事業を推進するため、自由通路整備のための実施設計、埋蔵文化財調査、駅付帯施設の移設を行った。	分倍河原駅周辺整備事業では、まちづくり基本計画の策定に向けて地元との意見交換やパブリックコメントを実施した。また、駅改良及び自由通路整備に向けた調査・検討等を実施した。 多磨駅改良整備事業では、本体工事、駅付帯施設の撤去及び線路棒線化に伴う関連工事等を実施した。	分倍河原駅周辺整備事業では、オープンハウス等で地元意見を聞き、まちづくり基本計画を策定したほか、駅改良及び自由通路整備に向けて鉄道事業者と事業範囲を定めた覚書を締結した。 多磨駅改良整備事業では、駅舎の橋上化とともに自由通路整備の工事を進め、供用を開始した。	
達成できていない点	着実に事業を進めることができていない。	多磨駅改良整備事業では、令和元年東日本台風による大雨の影響により工程に遅れが生じた。	多磨駅改良整備事業では、東京2020オリンピック・パラリンピックが延期になったこと及び新型コロナウイルス感染症予防対策を講じたことに伴い工程の見直しを行ったところ、工事の工程に遅れが生じた。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>分倍河原駅周辺整備事業は、駅周辺の市街地整備と連携し、戦略的に交通施策を推進するため、平成30年5月に都市・地域交通戦略を策定した。さらに、まちづくり協議会から提出されたまちづくり提案書や地元との意見交換等を踏まえ、令和2年1月にまちづくり基本計画（案）を作成し、パブリックコメント手続やオープンハウス等を実施して、同年7月にまちづくり基本計画を策定した。駅改良及び自由通路整備においては、鉄道事業者と協議を進め、令和3年3月に事業範囲を定めた覚書を締結したほか、駅周辺では、市道4-159号の改良を実施するなど着実に事業を推進している。</p> <p>多磨駅改良整備事業は、平成29年3月に西武鉄道(株)と「西武鉄道多摩川線多磨駅における自由通路整備及び鉄道施設改良に関する基本協定」を締結し、実施設計や埋蔵文化財発掘調査等を進め、平成31年度に本体工事に着手し、令和2年12月に供用を開始した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>分倍河原駅周辺整備事業は、南武線及び京王線による地域の分断や駅北側の商業地及び駅前空間の課題解決に向けて、地域住民や鉄道事業者などの関係者と協議・検討し、計画的に事業を推進する必要がある。また、事業用地の取得に向け、権利者と話し合いを進めていく必要がある。</p>
今後の展開
<p>分倍河原駅周辺地区は、地区の回遊性を高め、にぎわいのあるまちにするとともに、地域住民や駅利用者の利便性を向上するため、市民との協働によりまちづくり基本計画に掲げる各施策の実施計画を具体化し、鉄道事業者及び関係機関等と協議・調整を図りながら、駅及び駅周辺の基盤整備を行う。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
分倍河原駅周辺整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る調査検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る調査検討 ・自転車駐車場、駅前広場に係る検討・協議等 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る調査・設計・用地取得等 ・自転車駐車場、駅前広場に係る検討・協議等 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る調査・設計・用地取得等 ・駅前広場に係る調査・設計 ・自転車駐車場に係る検討・協議
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 地区整備課				
事業種別				
主要な事務事業	<ul style="list-style-type: none"> ・分倍河原駅周辺において、都市と交通の総合かつ戦略的な施策を示し、同地区のまちづくりを推進するため、都市・地域交通戦略を策定した ・駅改良及び自由通路整備に向けた調査・測量及び事業性の検討を行った 			
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			
多磨駅改良整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る実施設計 ・埋蔵文化財調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る本体工事 ・埋蔵文化財調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る本体工事 ・供用開始 ・撤去等残工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去等残工事
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 地区整備課				
事業種別				
主要な事務事業	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改良及び自由通路整備に係る実施設計を実施した ・埋蔵文化財発掘調査を実施した ・駅付帯施設の移転を実施した 			
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 2年度		R 3年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 分倍河原駅周辺整備事業	30		61,750,000	56,046,001	148,241,000	分倍河原駅周辺地区の整備に関する計画を作成し、事業を推進する。	A	
2 多磨駅改良整備事業	30		1,510,175,000	1,097,838,045	406,120,000	多磨駅の橋上化及び自由通路の整備	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,571,925,000	1,153,884,046	554,361,000			

施策評価シート

記載年月	令和3年9月
対象年度	令和2年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	064	けやき並木と調和したまちづくりの推進				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			担当部署	生活環境部 産業振興課
	基本施策	02	まちの拠点整備			
めざす姿	けやき並木を良好な状態で保護することで、本市のシンボルである「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木」が次世代へ受け継がれています。また、けやき並木周辺が安全で快適な空間となり、多くの人々が集い・憩い、けやき並木周辺ににぎわいが生まれています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	50,441,000	65,930,000	237,372,000	106,299,000	73,411,000	
国庫支出金	3,497,000	7,036,000	0	0	0	
都支出金	0	0	0	3,935,000	4,100,000	
市債	0	14,000,000	109,000,000	0	0	
その他	0	0	60,800,000	12,100,000	27,000,000	
一般財源	46,944,000	44,894,000	67,572,000	90,264,000	42,311,000	
予算現額	56,759,000	70,925,000	232,247,000	91,406,000	0	
決算額	56,284,217	69,385,372	218,544,875	75,991,748	0	
国庫支出金	3,493,800	7,036,200	0	0	0	
都支出金	1,200,000	0	0	27,935,000	0	
市債	0	13,000,000	103,000,000	0	0	
その他	0	0	19,700,000	0	0	
一般財源	51,590,417	49,349,172	95,844,875	48,056,748	0	
執行率	99.2	97.8	94.1	83.1	0.0	
(人件費)						
職員数	4.40	5.00	3.10	4.42	0.00	
職員人件費	33,799,146	39,260,850	24,899,061	34,208,698	0	
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	2,644,200	1,997,683	997,945	1,438,948	0	
総コスト	92,727,563	110,643,905	244,441,881	111,639,394	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
次世代に古木となるけやき後継樹の本数	134	実績	116	116	117	-	148
	本	達成率	78.4	78.4	79.1	0.0	
休日のけやき並木の歩行者交通量	15,586	実績	26,232	28,330	24,416	-	22,000
	人/日	達成率	119.2	128.8	111.0	0.0	
けやき並木通り沿道建築物の壁面後退の割合	45.6	実績	56.2	60.9	60.9	-	55
	%	達成率	102.2	110.7	110.7	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

けやき並木周辺を安全で快適な空間とするため、けやき並木を活用し、にぎわいと魅力あふれる街づくりの推進に向けて、事業を順調に進めている。指標については、令和3年度に向けて順調な数値を示している。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	
達成できている点	<p>▼けやき並木周辺整備事業では、市道4-503号で埋蔵文化財調査を行うとともに、ケヤキの良好な生育のため、けやき並木通りの植樹帯石積改修工事を実施。</p> <p>▼馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、春、秋の巡回監視所、日常の目視による管理はおおむね達成。</p> <p>▼竹あかり等を実施。</p>	<p>▼けやき並木周辺整備事業では、ケヤキの良好な生育のため、けやき並木通りの植樹帯石積改修工事を実施。</p> <p>▼馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、春、秋の巡回監視所、日常の目視による管理はおおむね達成。</p> <p>▼キアキテ府中マルシェやおもてなしライトアップを実施。</p>	<p>▼けやき並木周辺整備事業では、ケヤキの良好な生育のため、けやき並木通りの植樹帯補植工事及び市道4-503号改良工事を実施。</p> <p>▼馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、春、秋の巡回監視所、日常の目視による管理はおおむね達成。</p> <p>▼けやき並木ストリートテラスを実施。</p>	
達成できていない点	<p>▼けやき並木周辺整備事業では、用地取得について交渉が難航した。</p> <p>▼馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、補植に向けた準備は進んでいるが、種からの育成のため、時間が掛かる。</p> <p>▼東京競馬場タイヤアップ利用組数が減少した。</p>	<p>▼馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、補植に向けた準備は進んでいるが、種からの育成中のため、時間が掛かっている。</p> <p>▼東京競馬場タイヤアップ利用組数について前年対比で増加しているものの、目標値に対しては届いていない。</p>	<p>▼馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、市道4-10、4-12号、4-48号の用地取得が未実施。</p> <p>▼東京競馬場タイヤアップ利用組数について、新型コロナウイルスの影響により、タイヤアップ元が無観客での開催であったため、未実施となった。</p>	

5 施策の評価

<p>これまでの主な取組と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けやき並木周辺整備事業は、宮西町地区道路整備計画に基づき、市道4-11号、4-12号、4-14号の一部について道路整備を行うとともに、市道4-488号、4-503号について用地買収を進めた。また、ケヤキの良好な生育のため、けやき並木通りにおいて植樹帯石積改修工事を実施した。令和2年度は、植樹帯補植工事及び市道4-503号改良工事を実施した。 ・国指定天然記念物である馬場大門のケヤキ並木保護対策事業は、平成20年2月の保護管理計画策定以後、保護管理計画に基づいた保護対策を実施している。保護対策業務として、並木全体の現状確認と樹木診断、土壌硬化度の測定や土壌水分計による調査、伐採した樹木の年輪の年代確認と保存、優先順位の最も高い枯損枝の除去、枯死木や不要木の伐採など必要な対策を実施した。また、けやき並木通りの開発事業に対するケヤキ並木の保護に関する行政指導を実施した。さらに、補植に必要な木を現地のケヤキの種から育成する必要があることから、その収集や育成を農業高校と協働で行い、令和3年3月には同校と連携協定を締結して、苗木の植樹を行った。 ・けやき並木通り車両交通規制事業は、規制区間の延伸について、近隣住民の理解も得られたことから、平成26年6月1日(日)より延伸規制を実施するとともに警備業務の委託により、交通規制箇所での歩行者の安全確保及び車両誘導を行った。
<p>今後の課題、状況や市民ニーズの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けやき並木周辺整備事業は、宮西町地区道路整備計画に係る地権者に対して事業の目的や効果を説明し、協力を求めていく。 ・けやき並木通りに中高層建築物が建設される中で、いかにケヤキ並木を将来的に保護していくか、更には、ケヤキ受光量の維持・増加と根系の拡大に配慮して、国天然記念物指定地内における樹木の保護対策に加えて、周辺建築物に対する保護対策の強化が課題である。 ・本市のけやき並木は、国内唯一の国指定のけやき並木で、貴重な文化財である。大都市東京の市街地にあるけやき並木を、いかに将来にわたって保護していくか、土地所有者や、沿道の住民、事業者と協働で、積極的に取り組んでいくことが肝要と考えている。 ・けやき並木通り車両交通規制事業は、交通規制の日時の拡大を視野に入れながら、車両交通規制の周知徹底を図る必要がある。
<p>今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けやき並木周辺整備事業では、けやき並木通り周辺の交通環境へ対応するため、宮西町地区道路整備計画を着実に進めていく。また、ケヤキの良好な生育のため、けやき並木通りにおいて植樹帯石積改修工事を継続して進める。 ・国指定天然記念物である馬場大門のケヤキ並木を今後も保護管理計画に基づいた保護対策を実施し、ケヤキ並木全体の現状を維持していく。また、補植に必要な木を現地のケヤキの種から育成する必要があるため、補植までの工程を確認しながら、実施していく。 ・けやき並木通り車両交通規制事業は、車両交通規制の周知徹底を図るとともに、将来的には、交通規制の日時の拡大も視野に入れながら、「けやき並木歩行者専用道路化」の試験的事業の一つとして、けやき並木と調和した魅力あるまちづくりの一端を担う効果的な車両交通規制を検討していく。 ・中心市街地活性化基本計画に基づき中心市街地にぎわい創出に努める。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
けやき並木周辺整備事業	けやき並木通り：植樹帯石積改修工事 市道4-503号：用地取得、埋蔵文化財発掘調査	けやき並木通り：植樹帯石積改修工事、改良工事 市道4-10号：用地取得 市道4-12号：用地取得 市道4-488号：用地取得 市道4-503号：用地取得、埋蔵文化財発掘調査	けやき並木通り：植樹帯石積改修工事 市道4-10号：用地取得 市道4-12号：用地取得 市道4-488号：用地取得 市道4-503号：道路築造工事	けやき並木通り：植樹帯石積改修工事 市道4-10号：用地取得 市道4-12号：用地取得 市道4-488号：用地取得
【進捗状況】	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】
所管部署	けやき並木通り：植樹帯石積改修工事 市道4-503号：用地取得、埋蔵文化財発掘調査	けやき並木通り：植樹帯石積改修工事 市道4-503号：用地取得	けやき並木通り：植栽帯補植工事 市道4-503号：道路築造工事	
都市整備部 道路課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	309,600			
馬場大門ケヤキ並木保護対策事業	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施した。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施した。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施した。	
文化スポーツ部 ふるさと文化財課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	10,400			
中心市街地活性化事業	中心市街地活性化基本計画に掲げる指標の達成に向け、「東京競馬場タイアップ事業」及び「竹あかりおもてなしライトアップ事業」の充実を図る。また、ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた「カウンタダウンボード」を設置し、気運醸成を図る。	中心市街地活性化基本計画に掲げる指標の達成に向け、「東京競馬場タイアップ事業」及び「竹あかりおもてなしライトアップ事業」の充実を図る。また、ラグビーワールドカップ2019に因んだイベント事業等を実施する。	中心市街地活性化基本計画に掲げる指標の達成に向け、「東京競馬場タイアップ事業」及び「竹あかりおもてなしライトアップ事業」の充実を図る。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに因んだイベント事業等を実施する。	基本的には、前年度までの事業を継承しつつ、後期基本計画及び中心市街地活性化基本計画の最終年度として、指標に掲げる「タイアップ利用組数」、「けやき並木通りの歩行者交通量」の目標値達成を目指す。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】
所管部署	「東京競馬場タイアップ事業」は、利用組数が減少した。「竹あかり」は、2回目の実施となったが、既に認知度が高く、多くの方にご好評をいただいている。「カウンタダウンボード」は、3月21日にお披露目を催し、多くの方にご来場いただいた。	「東京競馬場タイアップ事業」は、利用組数が増加するもの、目標には届かなかった。ラグビーワールドカップ2019の開催に伴って「府中ストリートバル」を実施し、9日間で約20万人が来場した。	「東京競馬場タイアップ事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施となった。「竹あかり」は、認知度が高く、多くの方にご好評をいただいている。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに因んだイベント事業等についても、未実施となった。	
生活環境部 産業振興課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	25,512			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 2年度		R 3年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 けやき並木周辺整備事業	30		51,398,000	41,258,648	0	けやき並木通りのモール化に向けた周辺道路及びけやき並木通りの整備	B	1
2 馬場大門ケヤキ並木保護対策事業	10		3,151,000	3,150,680	3,648,000	国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策事業	B	1
3 けやき並木通り車両交通規制事業	30		5,106,000	4,424,420	5,106,000	けやき並木の歩行者専用道路化に付随する試験的な車両交通規制の実施	B	1
4 中心市街地活性化基本計画推進事業	30		46,644,000	27,158,000	64,657,000	中心市街地活性化事業	A	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			106,299,000	75,991,748	73,411,000			